



資料

案内チラシ

令和5年3月30日付け
読売新聞記事

アンケート



第18回京都大学附置研究所・センターシンポジウム

京都大学新潟講演会

京都からの挑戦—地球社会の調和ある共存に向けて

カッティングエッジ

創造への多様性—京大の多彩な最先端

新潟県民会館大ホール

〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-13
JR越後線をご利用の場合は、白山駅で下車し、徒歩約15分

お申込み方法

※新型コロナウイルス感染症防止のため事前申込みが必要です。

●ウェブで

参加申込みページ <https://kurca.kyoto-u.ac.jp/sympo2023/> から必要事項を登録ください。

●FAXで

冒頭に「京都大学シンポジウム参加申込」と明記し、①氏名(ふりがな) ②住所

●問合せ先

京都大学研究連携基盤 基盤企画室 〒6068507 京都市左京区聖護院川原町53

Eメール sympo2023@kurca.kyoto-u.ac.jp
Eメール sympo2023@kurca.kyoto-u.ac.jp
電話 075-366-7113 FAX 075-366-7114

③連絡先の電話番号 ④年齢をご記入の上、左記までご送付ください。

現地&オンラインハイブリッド開催

事前申込みをお願いします

高校生歓迎!

京都大学



募集定員
現地 500名 | オンライン 1,000名
入場無料
どなたでもご参加いただけます

- 10:00-10:10 開会挨拶
時任宣博 (京都大学理事・副学長)
- 10:10-10:40 『海の生態系を支える植物プランクトンの世界』
遠藤 寿 (化学研究所 准教授)
- 10:40-11:10 『ヒトはラッコやオットセイとあたらしい関係を築けるか』
三谷曜子 (野生動物研究センター 教授)
- 11:10-11:40 『「きれい」と「きれいじゃない」の人類学』
酒井朋子 (人文科学研究所 准教授)
- 11:40-13:00 休憩
- 13:00-13:20 質問回答(前半)
- 13:20-13:50 『タンパク質の揺らぎが織りなす生命現象』
奥田 綾 (複合原子力科学研究所 助教)
- 13:50-14:20 『RNAとiPS細胞が拓く未来の生命科学と医学』
齊藤博英 (iPS細胞研究所 教授)
- 14:20-14:50 『多彩な科学を融合して、生物多様性を理解する』
亀井謙一郎 (高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 准教授)
- 14:50-15:30 休憩
- 15:30-15:50 質問回答(後半)
- 15:50-16:50 パネルディスカッション
『多様であること—持続的発展ある未来に向けて』
(パネリスト) 湊 長博 (京都大学総長) / 時任宣博 (京都大学理事・副学長) / 講演者6名
< 司会 > 辻井敬巨 (京都大学研究連携基盤長)
- 16:50-17:00 総括・挨拶
湊 長博 (京都大学 総長)

※取得した個人の情報は、適切に管理し、本シンポジウムの開催・受付、アンケート集計、今後の開催案内、及び新型コロナウイルス感染症対策以外には利用いたしません。 ※やむを得ない事情によりプログラムが変更になる場合があります。



主催：京都大学、京都大学研究連携基盤 後援：新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、読売新聞社

2023
3|4
sat
10:00~17:00

第18回京都大学附置研究所・センターシンポジウム
京都大学新潟講演会

京都からの挑戦

—地球社会の調和ある共存に向けて

創造への多様性

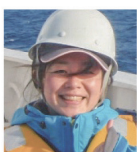
—京大の多彩な最先端



「海の生態系を支える植物プランクトンの世界」

遠藤 寿 (化学研究所 准教授)

海は豊かな海産資源を育み、酸素を作り出し、気候を安定に保つ役割を持つことから人類の生命維持装置にも例えられます。この海の生態系を支える植物プランクトンは、多様な種が共存することで群集を形成し、地球上の光合成の約半分を担っています。近年、この多様性こそが海洋生態系の性質を決める重要な要因であることが明らかになってきました。本講演では、植物プランクトンの多様性がどのように維持され、またどのような意義を持つのかについてお話ししたいと思います。



「ヒトはラッコやオットセイとあたらしい関係を築けるか」

三谷 曜子 (野生動物研究センター 教授)

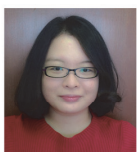
海棲哺乳類であるラッコやオットセイは、寒冷な海に生息するために高密度の毛皮を持ち、その毛皮を目的とした乱獲によって、20世紀初頭までにほぼ絶滅というところまで追い込まれました。その後、国際条約によって保護され、個体数を回復させてきましたが、現在では漁業との競合が問題になっています。海洋生態系の高次捕食者である彼らとの共存は、生物多様性を考える上でも重要です。本講演では、海の恵みを共に享受するヒトと彼らとが、新しい関係を築くことができるのかを一緒に考えたいと思います。



「「きれい」と「きれいじゃない」の人類学」

酒井 朋子 (人文科学研究所 准教授)

ものが「きれい（清潔）だ・きれいでない」を、日常生活のなかで人はどう判断するのでしょうか。人類学では、「きたなさ」は「matter out of place」すなわち場違いなものであるという議論があります。あるものは、いつでもどこでもきたないのではなく、特定の場所と条件のなかで危険になるという考え方です。これを参照しつつ、手洗いや洗濯などの日々の行いについて、そして東日本大震災やパンデミックなど大きな出来事のなかで「きれい」「安全」の認識や基準が移り変わってゆく様子について、考えていきたいと思ひます。



「タンパク質の揺らぎが織りなす生命現象」

奥田 綾 (複合原子力科学研究所 助教)

我々生物を形づくるタンパク質は非常に多くの種類が存在し、それぞれが生命現象を担う様々な機能を持っています。特に、溶液中で満たされた細胞内に存在するタンパク質は絶えず揺らいでおり、その動きが機能の発揮に深く関連していると考えられています。タンパク質が持つ機能のメカニズムを解き明かすべく、その揺らぎや動きを捉えるためにX線や中性子の溶液散乱法を用いて進めている新たな研究や最新の成果についてご紹介します。



「RNAとiPS細胞が拓く未来の生命科学と医学」

齊藤 博英 (iPS細胞研究所 教授)

生命の起源から現在まで、RNAは遺伝子の発現や生命機能の制御に重要な役割を果たしています。しかし、その解明はまだまだ十分ではありません。私はRNAを基盤とする生命システムに注目し、その制御ネットワークや作動原理を解明することで、医療や生命科学の進展に有用な技術を開発したいと思っています。また、iPS細胞は医療を変革する可能性があります。RNA研究はiPS細胞の作成にも活用できます。本講演では、RNAやiPS細胞の最新の研究をご紹介します。RNAとiPS細胞の融合テクノロジーが拓く未来の生命科学と医学についてお話しします。



「多彩な科学を融合して、生物多様性を理解する」

亀井 謙一郎 (高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 准教授)

私たち「ヒト」を含めた多くの生物は、互いにサービスを享受しながら、地球上で生活することができます。これが生物多様性です。一方で、現在、この生物多様性が気候変動や環境破壊などによって崩れ去ろうとしています。地球上に住む生物の一員として、私たちは何ができるのでしょうか？私は、幹細胞工学というものづくり研究を進めています。今回は、ものづくりの観点から、私たちの絶滅の危機に瀕する動物たちの保全に対する取り組みについて紹介します。

パネルディスカッション

『多様であること—持続的発展ある未来に向けて』

パネリスト 湊 長博 総長、時任 宣博 理事・副学長、講演者6名
司 会 辻井 敬巨 研究連携基盤長



湊 長博
京都大学総長



時任 宣博
京都大学理事・副学長



辻井 敬巨
京都大学研究連携基盤長

化学研究所/人文科学研究所/医生物学研究所/エネルギー理工学研究所/生存圏研究所/防災研究所/基礎物理学研究所/経済研究所/数理解析研究所/複合原子力科学研究所/東南アジア地域研究研究所/iPS細胞研究所/学術情報メディアセンター/生態学研究センター/野生動物研究センター/フィールド科学教育研究センター/ヒト行動進化研究センター/高等研究院 物質-細胞統合システム拠点



京都大学研究連携基盤
Kyoto University Research Coordination Alliance

京都大学附置研・センター 第18回シンポ

奥田綾 複合原子力科学研究所助教

体内でのアルコール分解は、肝臓の「アルコール脱水素酵素」というたんぱく質が大きな役割を果たす。通常の状態から少しだけ構造が変化し、生まれながらに働き助ける「補酵素」が結合し、分解が進む仕組みで、こうした構造変化は「構造変化」と呼ばれる。生体内で働くたんぱく質を対象に、「揺らぎ」と機能の関係性を解き明かす研究を進めている。

たんぱく質は1分子の1000万分の1程度の大さきしかないため、構造変化はX線結晶学やNMRなどの放射線を用いた測定が一般的だが、こうした手法は構造の揺らぎを捉えることができないため、構造変化は実験は実用化が難しい。計算機科学の分野の領域で、それぞれの分野の研究者が相互に連携し合いながら、研究を進めている。最先端の研究を未知の領域を解き明かす研究を進める上で、こうした異分野の連携が欠かせない。

タンパク質の揺らぎが織りなす生命現象



構造変化 独自の計測法

「結果の状態にしたり、水の中に関心のある部分に絞って、双方のデータを比較して、揺らぎが大きい部分に着目する」と奥田は説明する。たんぱく質は生体内で様々な状態を取り、その状態が変化することで生命現象が起きる。奥田は、たんぱく質の構造変化を捉える独自の計測法を開発し、たんぱく質の構造変化を捉えることに成功した。奥田は、たんぱく質の構造変化を捉える独自の計測法を開発し、たんぱく質の構造変化を捉えることに成功した。

斉藤博英 iPS細胞研究所教授

私たちの体は多様な細胞から構成されているが、元をたどると一つの受精卵から形作られている。2006年に山中伸弥先生などのグループがマウスで作製に成功したが、受精卵の多様な細胞を分化させることができない。iPS細胞(人工多能性幹細胞)で、病気のモデルや失われた細胞を補充治療へ応用する研究が進んでいる。

また、iPS細胞がある細胞を作るとする。目的以外の細胞が混入してしまうことで、細胞ががん細胞になる可能性がある。iPS細胞の安全性を高めることが、再生医療への応用を妨げない。iPS細胞の安全性を高めることが、再生医療への応用を妨げない。

RNAとiPS細胞が拓く未来の生命科学と医学



異分野融合 RNA研究

「RNAとiPS細胞の融合研究は、生命科学と医学の境界を越え、新しい可能性を開く」と斉藤は語る。RNAは、DNAの遺伝情報を伝える役割を果たす。iPS細胞は、多様な細胞を分化させることができる。RNAとiPS細胞の融合研究は、生命科学と医学の境界を越え、新しい可能性を開く。

亀井謙一郎 高等研究機構 動物学センター 動物学部長

人生で最初につづったのは、カンダムの14歳の10のゾラマール。小学校生活からこの動物学部長の職に就いて、動物学部長としての責任を担っている。動物学部長としての責任を担っている。動物学部長としての責任を担っている。

多彩な科学を融合して、生物多様性を理解する



臓器チップ 新治療に光

「臓器チップは、動物実験を減らし、人間の臓器を再現する」と亀井は語る。臓器チップは、動物実験を減らし、人間の臓器を再現する。臓器チップは、動物実験を減らし、人間の臓器を再現する。

■生き残るための戦略 生物研究の多様性

辻井 生物多様性と研究多様性について、特約記者の末三谷 海棲哺乳類は植物プランクトンや動物プランクトンを含む海洋環境に交差しており、多様なシボリと関係している。人と海棲哺乳類の相互作用を研究することで、生態系全体の多様性を理解できる。人と海棲哺乳類の相互作用を研究することで、生態系全体の多様性を理解できる。

* パネル討論

「多様な視点から生物多様性を研究することが重要」と奥田は語る。多様な視点から生物多様性を研究することが重要。多様な視点から生物多様性を研究することが重要。

■アイデア・新発見につながる

「アイデアは、多様な視点から生まれる」と奥田は語る。アイデアは、多様な視点から生まれる。アイデアは、多様な視点から生まれる。



様々な意見が交わされたパネル討論

「多様な視点から生物多様性を研究することが重要」と奥田は語る。多様な視点から生物多様性を研究することが重要。多様な視点から生物多様性を研究することが重要。

◆講演と質疑応答

- 遠藤寿・化学研究所准教授
- 三谷曜子・野生動物研究センター教授
- 酒井朋子・人文科学研究所准教授
- 奥田綾・複合原子力科学研究所助教
- 斉藤博英・iPS細胞研究所教授
- 亀井謙一郎・高等研究機構動物学センター動物学部長

◆パネル討論

- 司会 辻井敬吾・研究連携基盤部長
- パネリスト 渡長博・学長 時任宣博・理事 副学長 ほか講演者6人

第18回京都大学附置研究所・センターシンポジウム アンケート結果

【会場参加】 参加者 134名（うち高校生51名）／申込者173名（うち高校生60名）

【オンライン】 参加者 382名 ／申込者647名

小計 参加者 **516名** ／申込者**820名**

63%（参加率）

【関係者】 45名

合計 参加者 **561名**

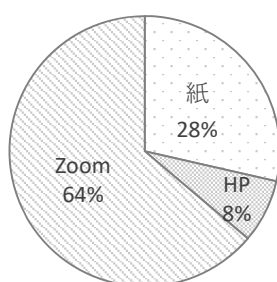
アンケート回答数

329 枚

64%（アンケート回答率）

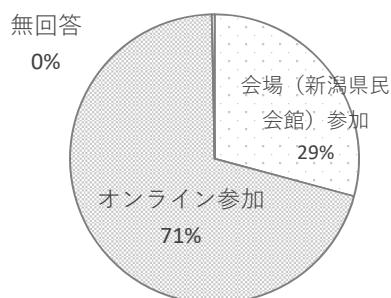
アンケート回答者内訳

【アンケート種別】



アンケート種別	人数
紙	94
HP	25
Zoom	210
合計	329

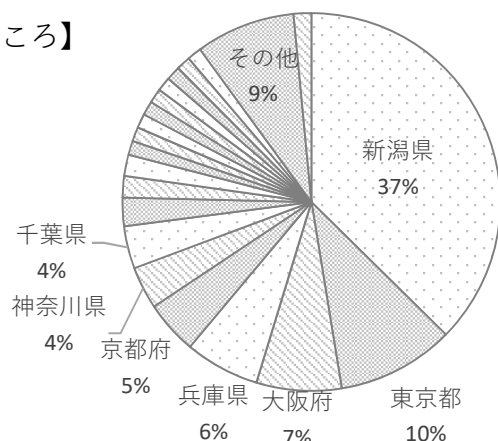
【参加形態】



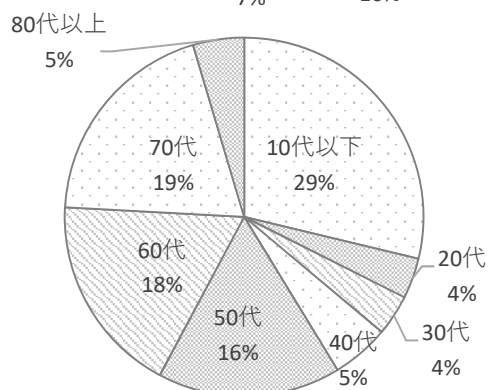
参加形態	人数
会場（新潟県民会館）参加	96
オンライン参加	232
無回答	1
合計	329

Q1. あなたのおところ・年齢に○を付けてください。

【おところ】



【年齢】

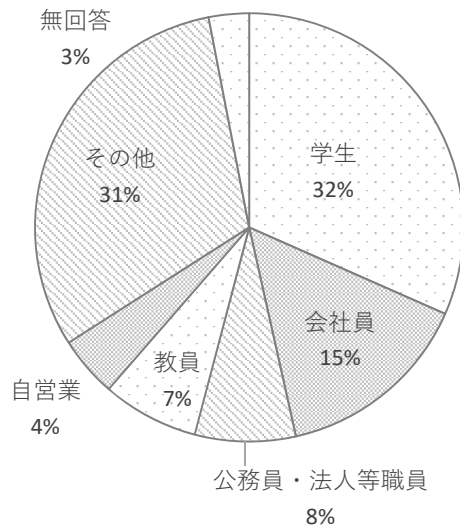


おところ	人数
新潟県	123(88)
東京都	33(0)
大阪府	24(0)
兵庫県	21(1)
京都府	15(0)
神奈川県	12(0)
千葉県	12(0)
埼玉県	8(0)
北海道	6(0)
茨城県	6(0)
香川県	4(1)
山形県	4(1)
宮城県	4(1)
福岡県	4(0)
奈良県	4(0)
群馬県	4(0)
滋賀県	4(0)
静岡県	4(0)
栃木県	4(0)
その他	28(0)
無回答	5(0)
合計	329(96)

年齢	人数
10代以下	94
20代	12
30代	12
40代	17
50代	54
60代	59
70代	64
80代以上	15
無回答	2
合計	329

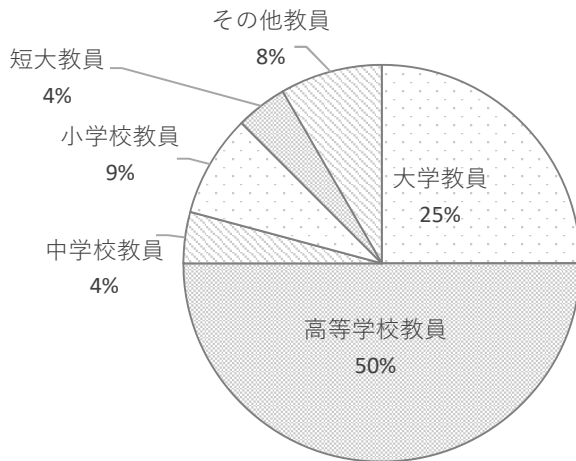
※(数字)は会場参加人数

Q2. あなたの職業等に○をつけてください。



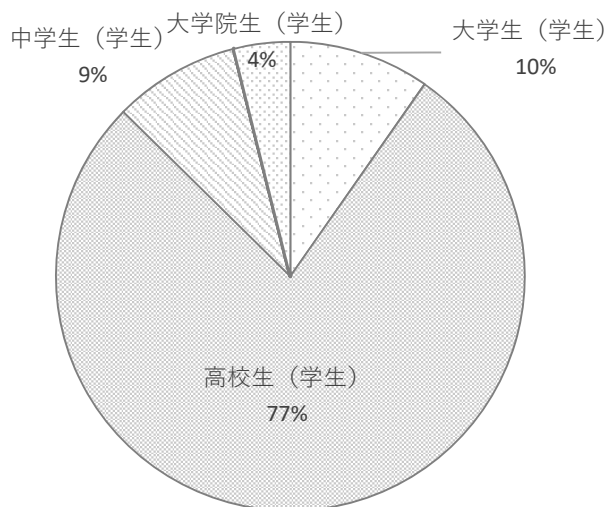
職業	人数
学生	104
会社員	49
公務員・法人等職員	25
教員	24
自営業	15
その他	102
無回答	10
合計	329

【教員内訳】



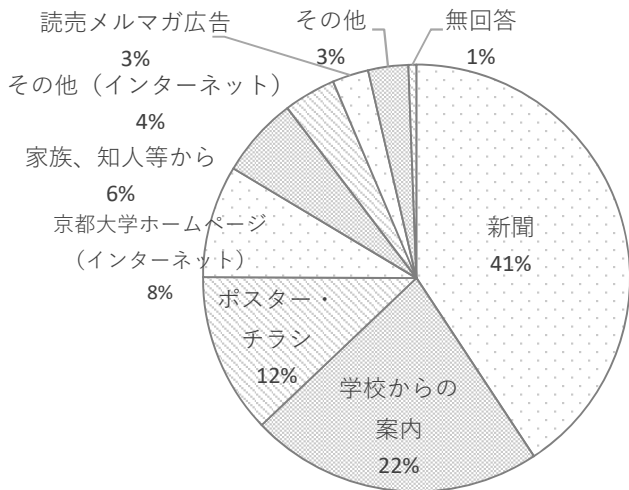
職業	人数
大学教員	6
高等学校教員	12
中学校教員	1
小学校教員	2
短大教員	1
その他教員	2
合計	24

【学生内訳】



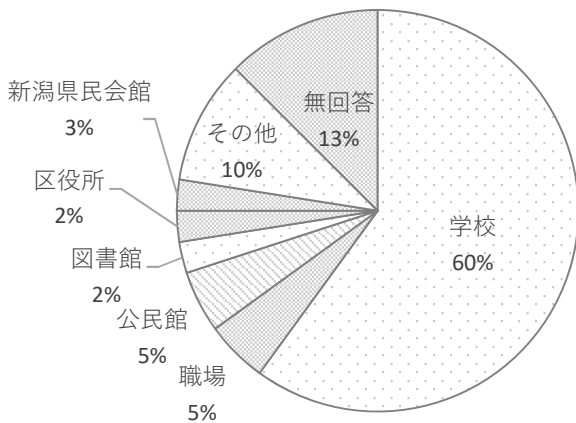
職業	人数
大学生（学生）	10
高校生（学生）	80
中学生（学生）	9
専門学校生（学生）	0
大学院生（学生）	4
その他（学生）	1
合計	104

Q3. 本日のシンポジウムを何でお知りになりましたか。



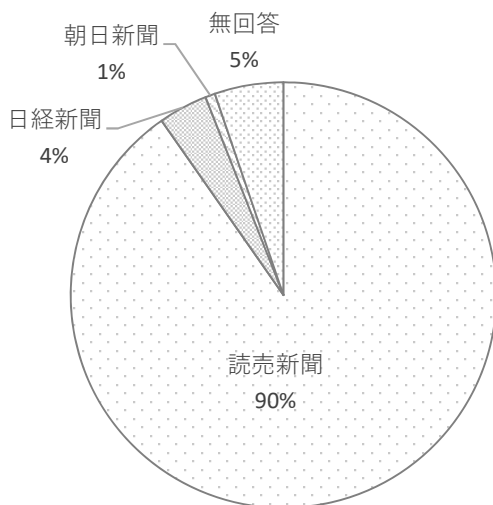
シンポジウムを何でお知りになりましたか。	人数
新聞	134
学校からの案内	73
ポスター・チラシ	40
京都大学ホームページ (インターネット)	28
家族、知人等から	20
その他 (インターネット)	13
読売メルマガ広告	9
その他	10
無回答	2
合計	329

【ポスター・ちらし内訳】



ポスター・ちらし内訳	人数
学校	24
職場	2
公民館	2
図書館	1
区役所	1
新潟県民会館	1
その他	4
無回答	5
合計	40

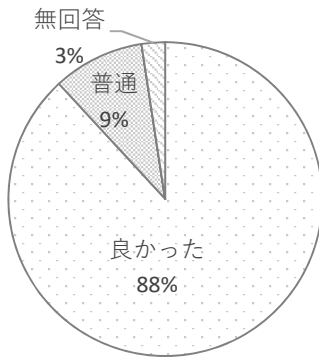
【新聞内訳】



新聞内訳	人数
読売新聞	121
日経新聞	5
朝日新聞	1
無回答	7
合計	134

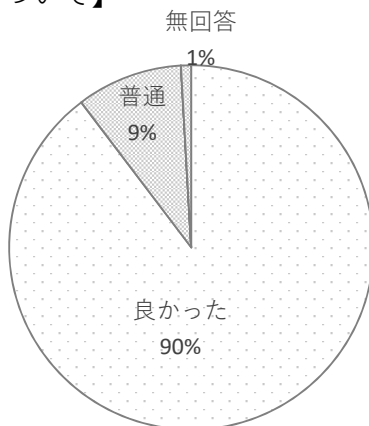
Q4. シンポジウムの内容について

【全体テーマ「パラダイムシフトー新しい世界を創る京大」について】



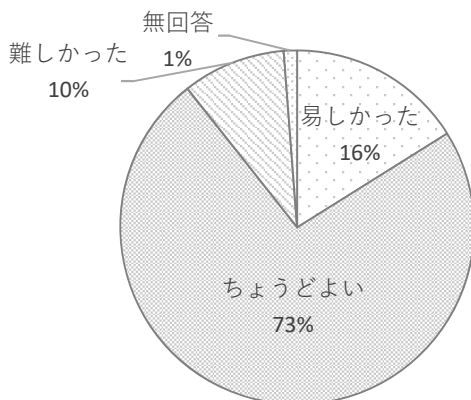
全体テーマについて	人数
良かった	290
普通	31
悪かった	0
無回答	8
合計	329

【講演内容について】



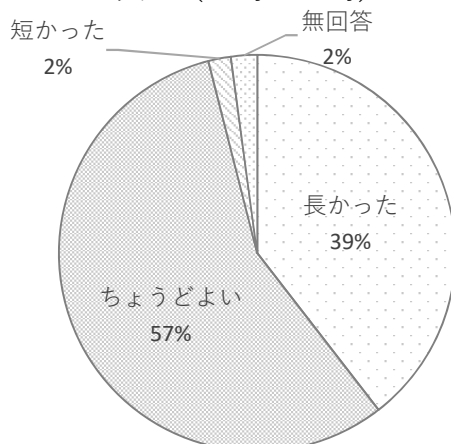
講演内容について	人数
良かった	295
普通	31
悪かった	0
無回答	3
合計	329

【講演内容のわかりやすさについて】



講演内容のわかりやすさについて	人数
易しかった	53
ちょうどよい	241
難しかった	31
無回答	4
合計	329

【シンポジウムの長さ（10時～17時）について】



シンポジウムの長さについて	人数
長かった	130
ちょうどよい	186
短かった	6
無回答	7
合計	329

※スペースの都合上、高校生からのご意見を中心に掲載いたしました。

年齢	あなたの職業等を選択してください	シンポジウム（内容等）について、ご意見・ご感想をお聞かせください。（600字以内）
10代以下	高校生（学生）	最前線に立って研究を進めていくには発想力や知識だけでなく、柔軟な考え方もひとつのなんだろうなと思いました。違うように思える分野からも共通点を見つけ、応用していくことの大切さを感じました。
10代以下	高校生（学生）	難しい内容もありましたが、興味深い話もあり、楽しく参加できました。
10代以下	高校生（学生）	自分が少ししか知らなかった内容をもっと深く知ることができて楽しかった。iPS細胞のことを最初はいいことしかないと思っていたけれど、たくさん無限に増えてしまうことが故に様々な問題点もあるということに驚いた。
10代以下	高校生（学生）	内容は難しかったけど、おもしろい話も出てきてすごくよかった講演だと思いました。
10代以下	高校生（学生）	今まであまり興味がなかったこともシンポジウムで興味を持ちました。とてもおもしろく、楽しい時間でした。
10代以下	中学生（学生）	難しいテーマが多い中、中学生である僕にも分かるように説明いただきとてもよかったです。自分の興味あるテーマについて楽しそうに話す講師の先生を見て、京都大学に興味を持ちました。本日はありがとうございました。
10代以下	中学生（学生）	多様性というテーマについて、様々な視点から講演をされて、普段あまり聞くことのできないようなことを聞くことができたりと、とても貴重な体験をできたと感じた。また機会があればこういったものに参加してみたいと思った。
10代以下	中学生（学生）	それぞれの先生方のテーマを見ただけだと一見関係のないように思うものだったが、全てにおいて、どこかで連携していることを知り、自分自身の勉強に興味があった。RNAとiPS細胞、動物の生態、その他様々なことについて、今まで興味を持たなかったり、疑問にも思わなかったことをこの機会に深く知ることができて、とても充実した時間を過ごしました。本当にありがとうございました。
50代	公務員・法人等職員	それぞれの研究分野が様々な学問分野と関係していることが各所で話されていました。アカデミックの一端が高校生にも伝わったと思います。各研究者が自分の失敗を伝えてくれました。なるべく失敗したくない現在の高校生にとってよい激励になりました。
10代以下	高校生（学生）	「きれい」と「きれいじゃない」の人類学が一番楽しかった。日々暮らしている中でなにげなくやっていることを、気づかされ驚いた。とてもおもしろい学問だと思った。
10代以下	高校生（学生）	京大に元々興味があり申し込みましたが、内容が分かりやすく、引き込まれました！！もっといろんな分野を調べたい。
10代以下	その他	どれも興味のある話だった。幅広い範囲の、専門的な分野を、少しだけのぞいたような気分で、更に科学を勉強したいと思いました。
10代以下	高校生（学生）	普段触れていなかった分野や興味のある分野、様々なお話を聞けて大変面白かったです。iPS細胞について、詳しく知れて、これからもっと健康寿命が伸びていくのかなと思いました。京都大学に興味を持ちました。

10代以下	高校生（学生）	普段、学校では学べないことを無料で知ることができてとても良かった。自分からは進んで聴くことのない内容についても知ることができたので知識の幅が広がった気がする。
10代以下	高校生（学生）	高校で学んでいる内容の発展の部分である内容などを深く知ることができた。iPS細胞は今後も活用でき、発展途中であることに興味を持ちました。パネルディスカッションでは、多くの見方が大切であること、多様性のいろいろなアプローチなどを分かりやすく説明していただいて、楽しかったです。
10代以下	高校生（学生）	心に残る内容を選考されていたなと思いました。身近な内容からロマンのある内容まで幅広く、とても面白かったです。
10代以下	高校生（学生）	難しい言葉を私たちにもわかる言葉や説明に言い換えてくれていたのでよくわかりました。
10代以下	高校生（学生）	学校で習った内容よりも詳しい内容が聞けて楽しかった。説明が上手でかたくなるしくない口調で聞きやすかった。ポディー・オン・チップを作って循環系の再現ができるという内容が興味のある内容で聞けてありがたかった。
10代以下	高校生（学生）	同じタンパク質、iPS細胞、海洋生態系という言葉が含まれていても内容は全く違っていた。新しく知ることが多くて、時間が経つのが早かった。なかなか最新の研究などを知れる機会がないので、とても楽しかった。1人1人の発表がとても分かりやすかったので、これからの機会に生かしていきたい。
10代以下	高校生（学生）	普段聞けないお話を聞いて楽しかったです！授業ではRNAについて詳しく分らなかったのですが、RNAからでも酵素が作れたり、可能性が広がって本当に面白かったです。
50代	高等学校教員	新潟で実施していただきありがとうございました。地方に住んでいて、多くの先端の研究者の話をナマで聞く機会はとても少なく、高校生にとって貴重な機会になったと思います。高校生レベルでわかりやすいお話であったこともうれしく思います。
10代以下	中学生（学生）	新聞などに載っていても、難しく自分からは触れられないような内容が分かりやすく説明されていて、楽しく受けることができました。日本という身近な場所で、こんな研究がされているのだと思い、未来の可能性を感じたし、自分の進路を考えなおしたりするきっかけになった。
10代以下	中学生（学生）	初めて触れる内容が多くとてもおもしろかった。今まで興味のなかった分野でも今回のシンポジウムを通してもっと知りたいと思うことができました。将来、理系に進みたいと思っているので参考になったし、さらに理系に進みたい気持ちが強くなった。
10代以下	高校生（学生）	様々な分野の話聞いて研究への関心が高まった。なじみのある名前の細胞を詳しくしれたり、世界が注目している研究などを知れてよかった。研究は1人でやるものではなく、大勢でしていると知れた。お互いにコミュニケーションやリスクを話し合うことも大事だと分かった。

10代以下	高校生（学生）	今回講演していただいた多様性や共存について、6つの観点から私たち高校生でも理解できるように、クイズなどたくさんの工夫をしていただいて講演していただいて、研究の仕方やなぜ調べようと思ったのかなど、今後の自分に必要なことを学ぶことができよかったです。
10代以下	高校生（学生）	今まで自分が詳しく知ることができなかった知識が、シンポジウムに参加することにより、得ることができたように思う。生物の多様性について、たくさんの視点から聴くことができとても新鮮だった。楽しかったです。どの先生の講義もとても身になりました。自分の進路についても一度詳しく考えてみようと思います。
10代以下	高校生（学生）	海の生態系を支える植物プランクトンの世界が非常に面白かった。データのまとめ（遺伝子群により分ける）が見やすく、理解しやすかった。タンパク質の揺らぎが織りなす生命現象で、実験の先を行く研究が面白かった。
10代以下	高校生（学生）	憧れの大学の教授の講演が聞けてすごく嬉しかったし、進路のモチベーションにもつながった。私の興味のある環境に関わる内容が多く、面白かった。生物・生命に関わるテーマにも刺激を受けた。
50代	高等学校教員	iPS細胞等応急的な効果は大きいと思いますが、人類を再生していくことの無謀さ、機械論的人間観は恐いと思います。ありがとうございました。
10代以下	高校生（学生）	いろんな分野の話が聞けて良かったです。新しい技術が最新のものを聞けておもしろかったです。私たちと生物と地球の多様性を考えることができ良い機会になりました。すばらしい講演ありがとうございました。
10代以下	高校生（学生）	個人的に難しい内容があったと感じたけれど、普段の自分が興味を持たない分野のお話を聞くことができ、今回参加してよかったと思った。iPS細胞について興味があったので、こうしてどんな利点があり、課題があるのかを知ることができて、とてもおもしろいお話が聞けてよかった。
60代	公務員・法人等職員	初の新潟講演に参加でき嬉しく思います。京大の研究について、広く社会に向けての発信、すばらしいと思います。開催の情報を知らない人も多いのでは。新潟市外の学生さんにももっと（直で）多く参加して欲しいと思いました。講演内容について興味がないものもありました。
70代	その他	初めての参加、ハードルが高いわれたが、先生方の気楽な親しみやすい話のもっていき方から引き込まれました。京大という最高の研究の場から、この地方に出向いてこられたおかげで、私共は最新最高の研究を知る機会になりました。誠にありがたかったです。中高大学生に、向学の機会、希望を与えて下さっていると思われるので、今後もこうした機会が、是非多くなるよう年齢の高い者として、強く望みます。次の世代を目指す、指針としてお励み下さいませ。
10代以下	高校生（学生）	テーマである多様性について、様々な視点で知ることができて面白かった。
10代以下	高校生（学生）	内容がとてもわかりやすく興味があった部分もあった。先生方の話がとても上手で面白かったです。

10代以下	高校生（学生）	学校の授業で習ったものができたり、環境保全についてなど、自分の興味があるものであったり、様々なお話を聞くことができ、とても良い体験だった。私は専門的なことを今学校で学んでいて合わないかもしれないと悩んでいたが、お話をお聞きして、もう少し頑張ろうと思えた。
10代以下	高校生（学生）	すべての内容がとても興味深いものばかりでした！
10代以下	高校生（学生）	様々な視点から多様性について理解を深めることができ、とても面白かったです。
10代以下	高校生（学生）	専門的なお話をわかりやすくかみくだいて話して下さったので楽しめました。一方でこちらがしっかりと知識をもった状態でお話がきければもっと踏み込んだところまで理解できてより楽しめたなど、自分の知識不足を悔やんでいるので、発表の資料などがあつたらつけて欲しいと思います。
10代以下	高校生（学生）	大変興味深い内容でした。遠藤先生や奥田先生は実際に行っている実験の目的や手法を分かりやすく示してくださり、大変勉強になりました。齊藤先生と亀井先生には、RNA、iPS細胞について、特に興味深い話をしていただきました。ありがとうございました。
50代	高等学校教員	今、旬の研究分野でご活躍の先生方の御講演を興味深くうかがいました。「今」と同時に、自己紹介に垣間見える、御幼少期の興味の芽生えに、若い時の出会いの大切さを感じます。今日参加の中高生に、この機会がそのひとつになってくれることを願います。惜しむらくは、多様性をうたいつつ、自然科学分野に偏り気味だったのでは？
10代以下	高校生（学生）	全然聞いたことがない言葉や研究がたくさん出てきて、最先端のことをする人たちは本当にすごいと思いました。『「きれい」と「きれいじゃない」の人類学』では、その場に普段ないものは「きたない」と言われるという話があって、普段全然考えたことがない見方でおもしろかったです。
10代以下	高校生（学生）	大学での研究は、高校での授業とは全く違って、ワクワクしました。研究とは、一つのことを突きつめていくのではなく、様々な分野を広く学び、融合させて、オリジナルのテーマを深めていくことだとわかりました。先生方自身が研究のお話をされるときに、とても生き生きとされていて研究の魅力やおもしろさを感じました。このようなイベントに参加できる機会を得られて、本当に良かったです。今から身の回りのことにアンテナをはって、興味・関心を上げていきたいです。
10代以下	高校生（学生）	個人的には前半の部が面白かったです。後半の部は、より専門的なお話しで新しいことに関する興味がひきでる内容でした。特に、植物プランクトンの話が一番分かりやすかったです。
10代以下	高校生（学生）	海洋生物についてやたんぱく質、iPS細胞などなど、また人類科学等、幅広い内容について、新しく知ることができてとても楽しかった。私はiPS細胞の可能性についてが一番面白いと思った。高2で勉強について不安な気持ちが大きかったけれど、シンポジウムを通して、学ぶことの楽しさに気づかされたように思う。今日来て本当によかった！あと、ガンダム良いですよね！

10代以下	高校生（学生）	あつという間の時間だった。どの講演についてもノートを1ページずつ程使ってたっぴりとメモを取らせてもらった。全くついていけなかったらどうしようかと思っていたが、身近な例や学生へのメッセージなどがあり、ずっと興味をもって聞くことができた。丁度、新潟で開催しているときに参加できて幸運だった。
10代以下	高校生（学生）	もともと楽しみにしていた内容もそうでないお話もとても興味深く、これからの進路を考える時や、世の状況を知るうえで視野が広がったと思います。
10代以下	高校生（学生）	様々な学問領域が関わり合うことで生まれる発想や技術の面白さが知れてよかったです。
10代以下	高校生（学生）	今回のシンポジウムも、もちろんとてもおもしろかったのですが、もし機会があったらAI等についても聞けたらいいなと思っています。
50代	小学校教員	本日はありがとうございました。各講演のタイトルが興味深く、会場で聴講したいと思いましたが、どのお話も大変面白く、時間があつという間にすぎてしまうように感じられました。また、このような機会がありましたら、他の学問分野のものもお聞きしたいと思います。
10代以下	高校生（学生）	個人的には、『「きれい」と「きれいじゃない」の人類学』がすごく興味を持って聞いていて楽しかったです。人によって感じるものが違うのは当たり前で、逆をとって、少数派に焦点を当てて考えるのも面白いと思いました。他にも、高校生の人などに向けたメッセージなどを聞かせてもらい、参考にしたいと思いました。
10代以下	高校生（学生）	難しい内容が多く、分からない内容もあったけれど、専門的なことを聞いてよかったです。
60代	高等学校教員	普段自分からは選ばないトピックでしたので、新鮮でした。それぞれの講師の方々が今の道に進まれるまでのお話も興味深く子供の頃の育った環境や興味関心が今に影響しているのを感じて、今の子供たちが自然と隔離された環境の中で育っているのは将来大丈夫なのかと心配になりました。小さい頃の、無意識の領域に取り込まれた「当たり前」（=自然）が人工的なものになっているような気がするからです。この無意識の領域のあるものに対する「像」は風を肌で感じたり、意識せずに見るものなど、五感によって規定されるものなので、意識的に頭で制御するのは限界があり、人はその無意識によって何かを決めていると思います。「きれいときれいでない」の講演の中の「お皿を洗った後洗剤をつけたまま乾かす」のは私もアメリカが留学中に経験しました。ぎょっとしましたが、ホストファミリーは平気だったのを思い出しました。午後は仕事があり聞けませんが、このような機会を設定してくださったことに感謝します。オンラインで家でこうして聞けるというのは本当にありがたいです。
50代	その他	わかりやすく、楽しく研究をされていることを、子どもたちにも理解できるようにお伝えいただきましてありがとうございました。

20代	公務員・法人等職員	研究についてはもちろん、経歴についての話も大変興味深く拝聴しました。私は平凡な大人の一人ですが、未来ある中高生は、子供の頃からの興味や疑問と向き合い、努力し続ける先生方の姿に大いに励まされたことと思います。みなさんの純粋な情熱の一端に触れ、私も自分の好奇心を大切にしていこうと感じました。
50代	その他教員	この地球上の分かっていないことを探求し「研究」することを、未来ある皆さん（高校生）に身近に感じていただける内容だったと思います。また、我々自身においても「研究」活動の尊さを実感する貴重な機会であったと考えます。
10代以下	高校生（学生）	すごく勉強したくなる内容ばかりでした。自分の身の回りにある好きなことを詳しくして、応用したものが今回の先生方の研究につながっていることが一番今回の講演で学ぶことができました。
10代以下	高校生（学生）	自分が今まであまり興味がないと思っていた分野の話を聞くことができ、興味が広がりました。
10代以下	中学生（学生）	中学生でもわかるように手順がふまえられていてうれしかったです。
60代	中学校教員	高校生を刺激するような内容で新潟県民として、ありがたかったです。
10代以下	高校生（学生）	個人的に興味のある分野の方々のお話を聞いて、よい時間を過ごすことが出来ました。いつも研究などのお話を伺うとどうしてそんな発想ができたのだろう、と思うことが多々ありましたが、多様性のある集団の中でいろいろな視点を合わせることでそれは可能になるのかもしれないという気づきを得ることができました。貴重な体験をありがとうございました。
10代以下	高校生（学生）	知っていることも知らないこともあり、ちょうど良い難しさでした。薬学や生命現象に興味があることもあり、iPS細胞やmRNAの話は特に興味深く面白かったです。
10代以下	高校生（学生）	誰でも他国の文化が違うということくらいは分かるけれど、ほとんどそこまでしか知らないのだと痛感しました。人類学者の講師は実際にルームシェアまでしておられるので、より生活感が伝わってきました。また、人類学ということで人間の本能的視点からも考えられたので、現代の社会問題とも繋げられそうだと思います。日頃の考えに深みが増しそうです。
40代	会社員	オンラインだったので、「将来の夢は科学者」という小学生の息子と一緒に聞かせていただくことができました。本人は「分かりやすかった」と言っており、大変良い経験をさせていただきました。今後も同様の機会があれば一緒に聞きたいと思います。ありがとうございました。
10代以下	中学生（学生）	一人一人の研究者の方々がとても情熱を持って研究に取り組んでいらして、研究の内容もとても独創的でわくわくしました。私ももっと本を読んだりして知見を深め、興味や関心のあることを調べていきたいと思いません。
70代	その他	iPS細胞研究の最新状況他、多彩な分野に渡って話題提供頂き、有意義な時間となりました。機会あれば孫達にも、今日の話は、何らかの形で伝えて行きたく思います。

70代	自営業	高校生の参加を前提にした構成として幅広い分野を易しく解説し興味を持ってもらうという目的には充分合致しているのではないかと思った。高校生のアンケート結果分析によって次回以降の構成などさらに良くなると思われる。
10代以下	高校生（学生）	私自身、文系の学問に興味がありますが特に文学に興味があったので、生物的内容への知識が浅く、講演内容についていけるか不安でしたが先生方の分かり易い説明で、自分なりに理解することができたとともに、新たな学問分野への興味を持つことができました。また個人的に、酒井先生のお話を特に興味深く感じ、新たな知見を得ることができました。この機会に、酒井先生の著書や論文を読ませてもらいたいです。
40代	高等学校教員	様々な分野で活躍されている先生方のお話をたくさん聞いて、またパネルディスカッションとして講演された先生方の様々な視点からのご意見、お考えを聞くことができとても貴重な体験となりました。ありがとうございました。
60代	会社員	京大は18?もの施設事業でしょうか?をお持ちでありそれはまさしく多様性という事につながるものと思います。近頃よく耳にする多様性という文字、言葉ではありますが、学長先生がおっしゃる中に、進化ではなく退化現象のような(同じ表現ではなく申し訳ありません) ことがあるとその種は生き残っていく事ができる。必然なのだということがあったと思います。多様性ということ認めにくい島国我が日本ではありますが貴大学のような影響力のある施設がこの多様性を実践していく事に強い共感を感じました。 また多くの若者高校生に言葉を投げかける諸先生方にも素晴らしい未来を感じました。 私は人生の集約の時期になっていますが、今回のシンポジウムが、身近な人類のみでなく生物すべての多様性を受け入れていく事が人生の鍵になっていく事と思いついた次第であります。 本当にありがとうございます。
10代以下	高校生（学生）	複雑なことをたいへん分かりやすく説明していただき、無知な私でもとても楽しんで聞けました。普段こういったお話を聞くことはないため貴重でした。また参加してみたいです。
10代以下	高校生（学生）	これからの時代では多様性を受け入れ、グローバル化がどんどん進むということは知っていましたが、科学の世界での多様性がどのような重要性を持っているのかは分からなかったです。持続可能な社会のための多様性だと知れて良かったです。また、京都大学の教授の講演だから事前に専門知識がないと理解できないかと不安だったのですが、先生方の説明は初心者の僕でもすぐ理解できる、とっても分かりやすい説明で面白かったです。
70代	大学生（学生）	総長が最後に述べられた内容の中で、本日のパネリストの中から25年後には新しいノーベル賞を受賞されているかも、とのお言葉は京大は自由な学風から由来するものであるのではないのでしょうか。素晴らしいと思います。

10代以下	高校生（学生）	途中からしか見られなかったがとても面白かった。生物の授業が好きで農学に興味があるので、興味深い内容だった。中でも奥田助教授のタンパク質に関する講演に最も惹かれた。現在進められているまさに最先端の研究の話が聞いて非常に満足している。シンポジウムを通して、京大の研究は専門的でありながら多くの分野にまたがっているのが印象的だった。
70代	その他	若者、特に高校生向けのシンポジウムだったと思いますが、高齢者にも十分満足できる内容でためになると同時に楽しかった。ありがとうございました。
10代以下	高校生（学生）	普段授業や教科書では載っていない、話されない部分を研究されていてとてもいい時間になりました。また、講師の方々の研究への熱意がとても感じられたので私がもし研究者になったらどんなに楽しいのだろうとか私はどんな研究をするのだろうと考える時間にもなりました。
70代	その他	先生方の生い立ちなど紹介されたのは良かったと思います。
10代以下	大学生（学生）	生物多様性について様々な学問の専門家たちが切り出していて大変興味深かった。
50代	その他	高校一年生の文理選択の時期の前に聞くべき内容だと強く思いました。小学生中学生が何に興味を持っているか、それぞれの生きてきた中で振り返って何が好きなのかゆっくりと考えるべきなのではないかとか考えます。数学が得意だからとか理系、化学の点が取れないから文系、などの選択では、本当の自分に出会えないと思います。理系に力を入れ始めている日本において、小さい頃から興味を持ったものに対する学問や探究心を大切にすべきと思いました。
10代以下	高校生（学生）	内容が難しいところもありましたが、興味のあることを深くまで掘ることが出来て良かったです。
60代	自営業	シンポジウムとはいえ、それぞれ別種の講義なのだろうと思って受講しましたが、全て人間に繋がる研究で、非常に興味深かったです。研究室の様子も含め、知らなかったことが身近に感じられました。若者にこそ受講して欲しい講義でした。

※スペースの都合上、高校生からのご意見を中心に掲載いたしました。

年齢	あなたの職業等を選択してください。	その他、ご意見・ご感想をお聞かせください。(600字以内)
10代以下	中学生(学生)	「京都大学」だけでない「大学」というものについて深く知ることができた。
10代以下	中学生(学生)	また開催してほしいです。
50代	公務員・法人等職員	大変に素晴らしい会でした。県内もっともっと多くの高校生に聞かせたかったです。テーマから仕方ないですが、生活分野の研究が多かったです。
10代以下	高校生(学生)	もう少し時間は短くてもよいと思った。分野が広いのはとってもよかったです。おもしろいと思った。ありがとうございました。
10代以下	高校生(学生)	もっと興味のある分野の話を知りたいと思った。1つ1つの分野を詳しく聞ける機会があるとよい。
10代以下	その他	気になる分野、知りたいこと、他分野との交流、やりたいことが全部できると知って、志望する大学に益々受かりたくなりました。
10代以下	高校生(学生)	文学・社会学系もやってほしいです。
10代以下	高校生(学生)	先生方みなさんが、その分野を目指すきっかけを持っていて、私もこれから見つけられるかなとワクワクしてきました。
10代以下	高校生(学生)	京都大学の先生方も受験で失敗したことがある方がいて安心しました。
10代以下	高校生(学生)	現在進行で研究の成果を知ることのできるよい機会になりました。本当にありがとうございました。
10代以下	高校生(学生)	もう少し長くても聴き入っているのでOKです。
10代以下	高校生(学生)	次回があったらまた来たいと思った。
10代以下	高校生(学生)	お話しされていた内容や学問が組み合わさることで、新しい発想ができていくことが改めて考えることができました。私も好奇心と熱量、相手へのリスペクトを忘れず勉強していきたいです。
10代以下	中学生(学生)	長さもちょうどよく、楽しかったです。ぜひまた参加したいです。ありがとうございました。
10代以下	高校生(学生)	私の住む地域では、このようなイベントがあまり多くの多くないので、参加することができてとてもよかったです。とても良い経験になりました。また来年もあればぜひ参加させていただきたいです。
10代以下	高校生(学生)	京大の最先端の研究について知れて、好奇心が刺激されました。
10代以下	高校生(学生)	貴重な話をたくさん聞くことができとても良い機会になりました。
10代以下	高校生(学生)	新潟でこのような会を催していただき、ありがとうございました。
60代	自営業	研究者の人と成りが「つかみ」でうまく表現できると、本題の理解が高まる。→この人の話おもしろそう、脳のトピラが開くのかなあ。研究者の「感動」と「喜び」が伝わると聞いている方も嬉しくなる。専門用語を使わずに苦しかったと思いますがわかりやすいお話、ありがとうございました。楽しい時間を持ってました。
50代	高等学校教員	質問用紙を出しに行くと思しき高校生(特に女子)の姿に頼もしさを感じました。満席になるほどでもよかったのに…もっと強く勧めればよかったと、後悔しております。ありがとうございました。
10代以下	高校生(学生)	自分でメモをとるだけではついていけない話もあったので、手本に資料があったらうれしいです。
10代以下	高校生(学生)	また機会があったら参加したいと思います。
10代以下	高校生(学生)	最高でした！もっと京都大学に行きたくなりました。
60代	高等学校教員	どの方の講演も興味深く、ある分野を深く研究している方の話は本当に面白いと改めて思いました。研究の結果だけではなく、調査方法やその分野の歴史の変遷なども紹介されていたので、理解が広がり深まりました。それぞれの分野の研究者の方々が研究を進め、シェアしていくことで、知のネットワークが広がり、よりよい世界へつながるのだと実感しました。「知は力」。世界の国々が、軍備ではなく研究にお金を使ったら、今よりどれだけ人類にとっても他の生物にとっても住みやすく幸せな世界になるだろうか、と思いました。

50代	その他	子どもが現場で参加していて、面白いから聞いてみて、と言われ、参加したら、私にとっては敷居の高い分野でしたが、とても楽しく聞かせていただきました。ありがとうございました。
40代	高等学校教員	充実した時間を過ごさせていただきました。 ありがとうございました。 また機会があれば是非参加したいと思います。
70代	その他	初めて聴講しましたが、中高生の参加を意識してよかったと思います。 これを機会に中高生が科学技術に興味を持つ機会になるかと思っておりますので、継続をお願いします。
70代	その他	パネルディスカッションでの湊長博京都大学総長の話が、纏めとして「多様性」に触れいかに大切であるかを分かり易く伝えてとても良かった。湊長博総長の笑顔も大変素敵である。 貴大学の益々のご活躍とご発展を祈念申し上げます。
70代	その他	高校生を対象としたシンポジウムかと思いますが、老年生でも十分楽しむことができました。久しぶりに脳に栄養を補充することができた感じです。どうも有難うございました。
10代以下	中学生（学生）	何度も開いていただけたとうれしいです。
70代	その他	興味ある内容がお聞きできるのは本当にありがたい。 高校生の参加があったのは本当に嬉しいことです。 これをきっかけに進路を定めることになるやもしれない。 良かったです。やむなく途中退席しましたが、参加させていただきありがとうございました。
30代	その他	小さい子どもがいるため、腰を据えて最後まで視聴できませんでしたが、中学生、高校生くらいになったら、一緒に視聴したい。
10代以下	高校生（学生）	住んでいる地域上このようなイベントに参加するには飛行機に乗るしかなくなかなか機会がなかったのですが、オンラインであることで参加しやすくなり、よい経験になりました。
10代以下	高校生（学生）	次回も見させていたきたいと思いました。
50代	その他	総長先生から、今日のお話は京都大学の一部のお話がありました。次の機会も是非応募して、拝聴させていただきたいと思っております。
10代以下	中学生（学生）	非常に貴重な機会を提供していただきありがとうございました。
50代	その他	斉藤先生のお話が大変印象に残りました。小さい頃のお話からこれまでの経歴等、引き込まれました。
10代以下	高校生（学生）	自分の学問への興味の幅を広げるとともに、多様性に対する新たな考え方や視点を得るよい機会を得ることができました。京都大学を目指している私にとって、とても貴重なお話を聞かせていただくことができました。ありがとうございました。
40代	高等学校教員	今回はオンラインでの参加となりましたが、できればぜひ会場で講演を聞きたいと思っております。またこのような機会がありましたら参加させていただきたいと思っております。今回は本当にありがとうございました。
60代	その他	最後の総長のお話が意義深かったです。
10代以下	高校生（学生）	zoomへの出入りがしやすく気軽に参加することができた。映像や音声も途切れずきれいだった。
60代	その他	小生、嘗て大学受験時には、大学、学部、学科は当時の関心事でかなり近視眼的に選択し、入学後も自らの枠をを制限していた様に思います。 今思えば、もっと広く（多様性）森羅万象に興味を持って様々な講義を受ける事ができたのにと悔やまれます。本日会場に参加された中高生の諸君は、本シンポジウムをきっかけに多様性のある選択を期待します。ありがとうございました。
10代以下	高校生（学生）	たくさんの講師の方々の多方面の知識を聞けるのは滅多にないので次のシンポジウムにも参加したいと思います。
70代	その他	初めて聴講しましたが、中高生に意識した構成で、若い人が科学技術に興味を持つ切っ掛けになるのでは思いました。

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム

「京都からの提言 —— 21 世紀の日本を考える」

- 第 1 回 平成 18 年 3 月 16 日(木)10:00~17:30
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「危機をいかに乗り切るか? 東アジアといかに向き合うか?」
- 第 2 回 平成 19 年 3 月 17 日(土)10:00~17:00
大阪・エルおおさか(大阪府立労働センター) エル・シアター
サブテーマ:「ノーベル物理学賞受賞者「湯川・朝永両博士が拓いた世界」
~湯川・朝永両博士 生誕百年に因んで~
- 第 3 回 平成 20 年 3 月 8 日(土)10:00~17:15
横浜・新都市ホール
サブテーマ:「人間と自然:新たな脅威と命を守るしくみ」
- 第 4 回 平成 21 年 3 月 14 日(土)10:00~17:25
名古屋・名鉄ホール
サブテーマ:「学問のつながりのユニークさ:それがつくる明るい未来」
- 第 5 回 平成 22 年 3 月 13 日(土)10:00~17:15
福岡・アクロス福岡
サブテーマ:「グローバル社会に生きる—未来を見据える目」
- 第 6 回 平成 23 年 7 月 3 日(日)10:00~18:00
京都・京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール
サブテーマ:「混沌の時代に光を探る」
- 第 7 回 平成 24 年 3 月 17 日(土)10:00~17:00
神戸・神戸国際会議場メインホール
サブテーマ:「明るい社会の未来像」
- 第 8 回 平成 25 年 3 月 16 日(土)10:00~17:15
札幌・北海道立道民活動センター「かでの 2・7」かでのホール
サブテーマ:「科学が見いだす日本の進路」
- 第 9 回 平成 26 年 3 月 15 日(土)10:00~17:15
仙台・仙台国際センター 大ホール
サブテーマ:「社会と科学者」
- 第 10 回 平成 27 年 3 月 14 日(土)10:00~17:20
広島・広島国際会議場国際会議ホール「ヒマワリ」
サブテーマ:「活力ある未来の“想像”と新たな展開を求めて」

「京都からの挑戦 —— 地球社会の調和ある共存に向けて」

- 第 11 回 平成 28 年 3 月 12 日(土)10:00~17:00
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「翔ぶ、京大」
- 第 12 回 平成 29 年 3 月 11 日(土)10:00~17:10
金沢・石川県文教会館
サブテーマ:「自由^{フリースタイル}風格、京大」
- 第 13 回 平成 30 年 3 月 17 日(土)10:00~17:00
岡山・おかやま未来ホール
サブテーマ:「京大^{きょうだいはるかぜをおこす}起春風」
- 第 14 回 平成 31 年 3 月 9 日(土)10:00~17:00
浜松・えんてつホール
サブテーマ:「京大^{まんだら}曼茶羅」
- 第 15 回 令和 2 年 3 月 14 日(土)《開催中止》
熊本・くまもと森都心プラザホール
サブテーマ:「京大・学の地平」
- 第 16 回 令和 3 年 3 月 6 日(土)10:00~17:00
熊本・くまもと森都心プラザホール
サブテーマ:「コロナ禍を越えた新しい世界へ」—未知の原野を行く—
- 第 17 回 令和 4 年 3 月 5 日(土)10:00~17:00
松山市民会館 大ホール
サブテーマ:「パラダイムシフト ——新しい世界を創る京大」
- 第 18 回 令和 5 年 3 月 4 日(土)10:00~17:00
新潟県民会館 大ホール
サブテーマ:「創造への多様性—京大の多彩な^{カッティングエッジ}最先端」